科目ナンバリング	U-LAS02 20011 LJ36				
授業科目名<英訳>	日本語学文献講読論I Reading in the Document of Japanese Philology I			担当者所属職名・氏名	人間・環境学研究科 教授　佐野　宏
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	芸術・文学・言語(各論)	使用言語	日本語
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・前期	曜時限	火4	配当学年	2回生以上	対象学生	全学向

（総合人間学部の学生は，全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。）

[授業の概要・目的]

古代日本語の表記史について概説する。とくに仮名の成立について、万葉仮名から平仮名、片仮名の形成といった仮名発達史についての問題を取り上げて解説をする。

[到達目標]

日本語表記史に関する基礎的な用語や問題点について、関連事項や関連作品とともに説明できること。

[授業計画と内容]

1 日本語の文字表記の〝多様さ〟とその歴史的要因
2 漢文訓読と日本語
3 文字論・表記論・書記論へ
4 社会における文字の始まりとその役割
5 文字の種類と記号論
6　字の形を定義する
7 言語学的なアプローチと方法論
8 言葉の基本的な特徴と文字・表記
9 言葉の働きとその研究
10 個別と一般、歴史と現在
11　漢字の始まりとその特性
12　古代中国の漢字事情
13　喚起性の強さ――二次的表語性
14 社会における文字・表記とその実態
15 フィードバック（まとめ・課題レポート試験を含む）

[履修要件]

日本語史についての基礎知識が必要になるので、言学Ⅰ、Ⅱを受講していることが望ましい。

[成績評価の方法・観点]

基礎的な事項の確認試験を行う（60%）。時折、講義中に小テストを行うほか、授業への積極的な参加度（40%）を総合的に加味して評価する。

[教科書]

尾山慎『日本語の文字と表記　学びとその方法』（花鳥社）ISBN:978-4-909832-69-6

日本語学文献講読論I(2)へ続く↓↓↓

日本語学文献講読論I(2)

[参考書等]

（参考書）
佐竹昭広/木下正俊/小島憲之 『萬葉集　本文篇』（塙書房）ISBN:978-4-8273-0081-9

[授業外学修（予習・復習）等]

プリントを配布するので、その資料を参考文献とともに熟読しておくことを希望します。参考文献は自ら図書館等で参照してください。別途理解度を知るために小テストを行うことがありますが、事前に調査考察の課題を示しますので、準備を御願いします。

[その他（オフィスアワー等）]

木曜日４限をオフィスアワーにあてる。会議等で不在の場合もあるから必ず事前に確認すること。

[主要授業科目（学部・学科名）]